

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	帯広あおぞら		
○保護者評価実施期間	令和6年12月10日		～ 令和6年12月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 5日		～ 令和 7年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	必要に合わせて、子どもの様子や状況に合わせた対応・支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・会議や朝の打ち合わせ等で情報の共有化を図るようにしている。又、打ち合わせに参加出来ないスタッフには、クラスのペアから伝達したり、打ち合わせ内容を書いたボードを確認してもらうようにしている。 ・状況やこどものねらいにあわせながら、活動内容によってはクラスを超えて参加したり、他クラスのお友達や大人と関わる場面も設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間職員を含めたクラスのメンバーでの会議を月1回は行っていきます。 ・全体への情報の周知の強化していきます。 ・職員がクラス以外の子どもたちとも積極的に関わりを持ち、会議や日常の中で振り返りを行い、情報交換してきます。
2	同施設内に併設されているつばさ保育所の子との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの施設の代表の職員で、年に3～4回ほど、子どもの様子の情報交換や交流の取り組みについて話をしている。 ・運動会、おゆうぎ会の行事を合同で行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して行っていきます。
3	通所を楽しみに通ってくれている	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動の中での振り返りから、子どもたちの様子や、楽しめる活動、苦手な活動を職員間で確認するようにしている。 ・個々の子どものねらいや様子から、取り組み方や頻度、活動の内容を考え、子どもたちにとって負担感が強くないよう配慮しながら行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、通ってくれる子どもたちにとって、家庭以外の安心できる場所や存在になる事、笑顔で過ごせることを大切に、個々に合わせた支援を行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間の中での配慮が足りない (けが、洗面所前でのオムツ交換)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性への配慮不足(活動の中でのけがの予測の弱さ、安全に遊べる環境面の配慮や調整、大人の配置の確認等) ・周りからの見られ方への職員の慣れ、子どものプライバシーへの配慮不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具の出し方や部屋の活用方法、安全管理において工夫していきます。又、事故やけがの発生時の対応について速やかな連絡、状況報告を心掛け、役割分担、応急処置等、状況に合わせた対応ができるよう会議等で確認してきます。 ・洗面台の着替え、オムツ交換については、改善してきます。
2	保護者同士のつながりを作っていく役割の弱さ	<ul style="list-style-type: none"> ・父母会自体は、保護者からのご協力で、活発に活動を行っていただいているおかげもあり、盛り上がっている。 ・役員さんの協力に甘えてしまい、負担も大きく感じさせてしまっていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員も役員さんと共に企画運営を重点的に考えていきたいと思っています。
3	加算の算定など説明が足りていない部分がある	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の変更点が多く、説明する側が、深く理解しきれていないままの説明にいたしました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい丁寧な説明を心掛けていきます。 ・加算の算定など、職員内での理解を深めていきます。